

平成 30 年度

市政モニターアンケート調査結果
【 協働によるまちづくりについて 】



長 崎 市
市民協働推進室

1. 調査の目的

長崎市では、「長崎のまちはみんなでつくる」、「自分たちのまちは自分たちでよくする」という気持ちを共有し、参画と協働によるまちづくりを推進するための事業に取り組んでいます。

今回、市民の皆さまの市民活動に対する関心度や参加状況、「協働」についての認知度や理解度、また、どのような情報に関心があるのかなどを把握・分析し、今後の事業の参考にすることを目的としています。

2. 調査の概要

調査期間：平成31年1月16日～平成31年1月31日

送付数：230人（郵送モニター 189人 インターネットモニター 41人）

回答率：82.6%（190人）

（郵送モニター 167人 インターネットモニター 23人）

3. 調査結果

市民活動に「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と答えたかたの割合は4割を超え、また、関心がある理由としては「地域や社会を良くするため」と答えたかたが約7割という結果となりました。一方、市民活動に「参加していない」と答えたかたが7割を超え、市民活動に対して関心はあるが、必ずしも参加はしていないということがわかります。参加をしていない理由は、「活動する時間がないから」と答えたかたが6割半ばを占める結果となり、仕事などで時間に余裕がないため市民活動の参加が難しい状況であることがうかがえます。次いで、「参加の仕方がわからないから」と答えたかたが4割を超え、今後、市民活動の周知や情報提供の強化が必要であると考えています。

また、協働という言葉を知っていた「聞いたことはあったが、内容はわからない」と答えたかたが4割と、認知度は、十分ではないことがわかりました。対して、今後、地域での困りごとを解決するためには、「協働」することが有効だと思ふ分野について、「保健・医療・福祉」67.8%、「子どもの健全育成」56.3%、「まちづくり」52.5%、「地域安全」51.4%と過半数を上回り、協働に対する関心・期待がうかがえる結果となりました。

その他、市民活動センター「ランタナ」を「知らない」と答えたかたは8割を超える結果となり、認知度は非常に低いということがわかりました。

今回の調査結果を参考に、今後とも市民の皆さまと協働によるまちづくりを進めるため、効果的な周知活動に努めるとともに、きっかけづくりや情報発信といった市民活動の参加促進に向けた取り組みを検討していきます。

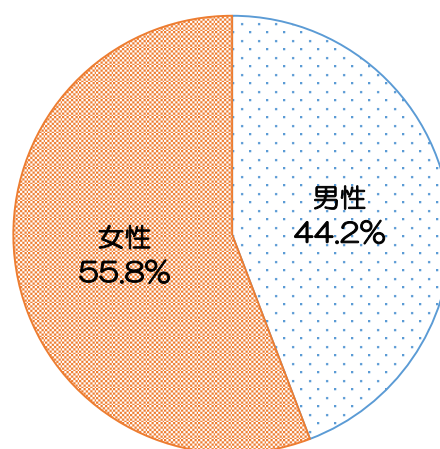
4. 調査結果の見方

調査結果の数字は、百分率で表記しているものがあり、百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入して、小数点第1位まで表記しています。そのため、内訳を合計しても100パーセントに合致しない場合があります。

また、複数回答可とした設問においては、合計が100パーセントを上回る場合があります。

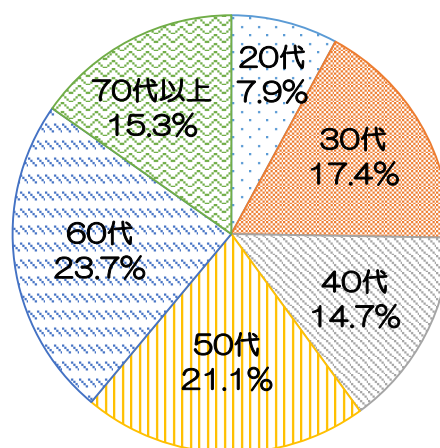
問1 あなたの性別をお答えください。

選択肢	回答者数	割合
男性	84人	44.2%
女性	106人	55.8%
合計	190人	100.0%



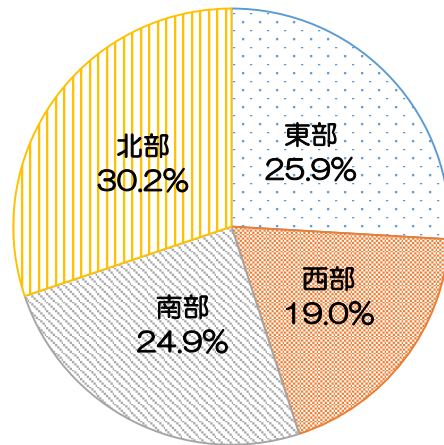
問2 あなたの年齢を選択してください。

選択肢	回答者数	割合
20代	15人	7.9%
30代	33人	17.4%
40代	28人	14.7%
50代	40人	21.1%
60代	45人	23.7%
70代以上	29人	15.3%
合計	190人	100.0%



問3 お住まいの町名を教えてください。

選択肢	回答者数	割合
東部	49人	25.9%
西部	36人	19.0%
南部	47人	24.9%
北部	57人	30.2%
合計	189人	100.0%

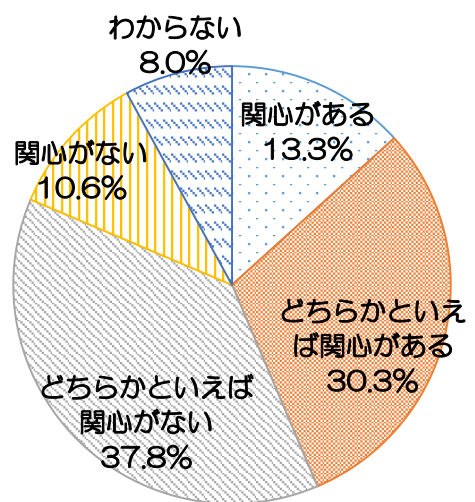


※ご記入いただいた町名をもとに、東西南北に分けて集計しています。
(無記入1人)

問4 市民活動に関心がありますか。

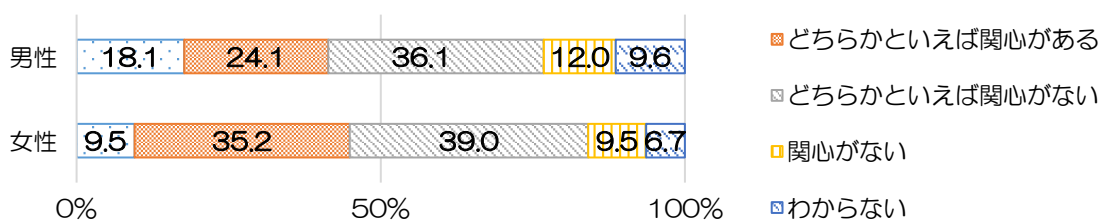
※このアンケートにおける「市民活動」とは、NPO 法人や任意のグループなど、営利を目的としない市民の自主的・主体的な公益的活動のことを指します。ただし、自治会やPTAなどの地域活動は除きます。

選択肢	回答者数	割合
関心がある	25人	13.3%
どちらかといえば関心がある	57人	30.3%
どちらかといえば関心がない	71人	37.8%
関心がない	20人	10.6%
わからない	15人	8.0%
合計	188人	100.0%

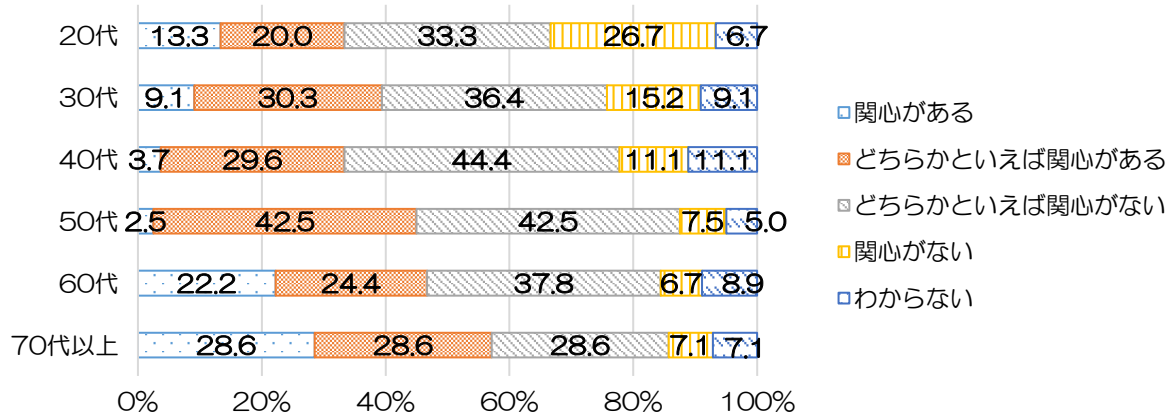


(無記入2人)

〈男女別割合〉



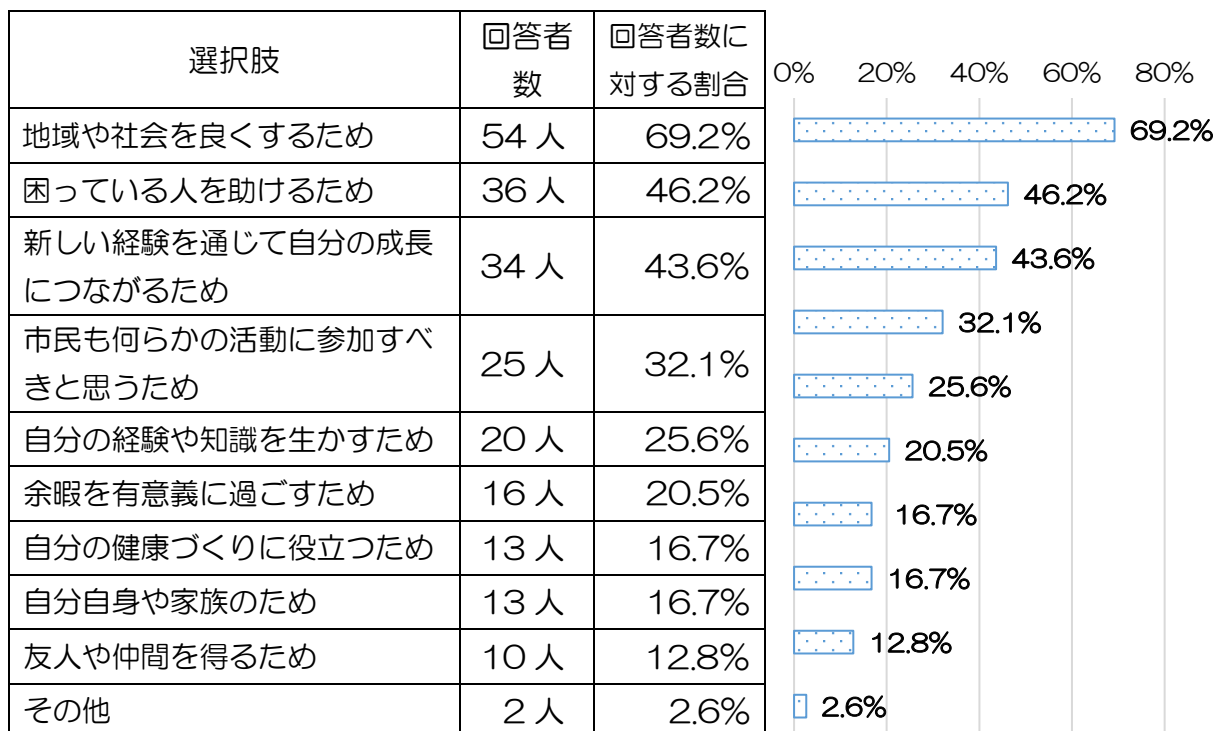
〈年代別割合〉



市民活動に「興味がある」と答えたかたの割合は 13.3%、「どちらかといえば興味がある」と答えたかたの割合は 30.3%と2つを合わせた『興味がある』と答えたかたの割合は 43.6%となっています。一方、「どちらかといえば興味がない」37.8%、「興味がない」10.6%と、2つを合わせた『興味がない』と答えたかたの割合は 48.4%となっており、『興味がない』割合が『興味がある』割合を上回っています。

また、『興味がない』と答えたかたの割合は、若い世代ほど高くなっています。

問5 「問4」で「興味がある」「どちらかといえば興味がある」と回答したかたに質問です。市民活動に関心がある理由を3つまでお選びください。【複数回答可】



回答者数 78 人、有効回答数 223

＜その他回答＞

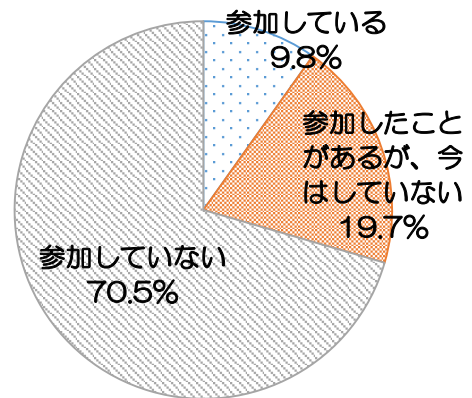
- ・ 家族が少年補導員の活動をしているため
- ・ 現場視点で物事の解決に当たれる。地域を知らない人の意見は、現場との整合性に欠ける。

市民活動に「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と回答したかたのうち関心がある理由を「地域や社会を良くするため」と答えたかたは 69.2%と最も多く、次いで「困っている人を助けるため」が 46.2%、「新しい経験を通じて自分の成長につながるため」が 43.6%という結果となりました。

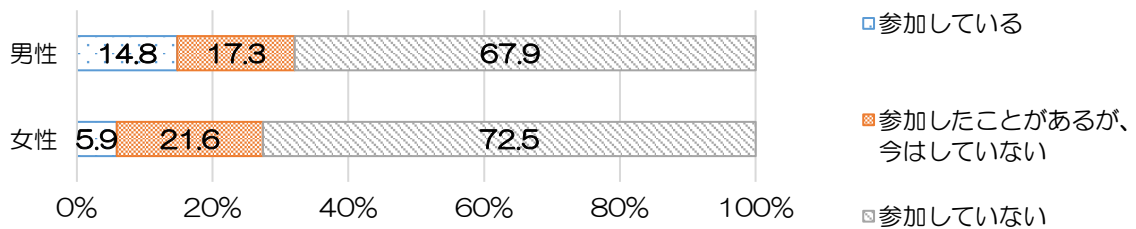
問6 市民活動に参加していますか。

選択肢	回答者数	割合
参加している	18人	9.8%
参加したことがあるが、今はしていない	36人	19.7%
参加していない	129人	70.5%
合計	183人	100.0%

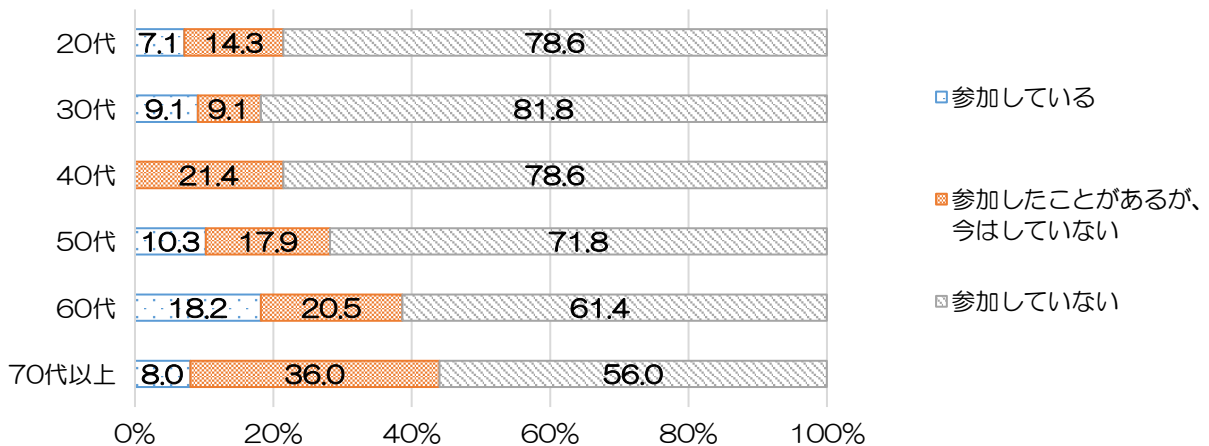
(無記入7人)



＜男女別割合＞



＜年代別割合＞

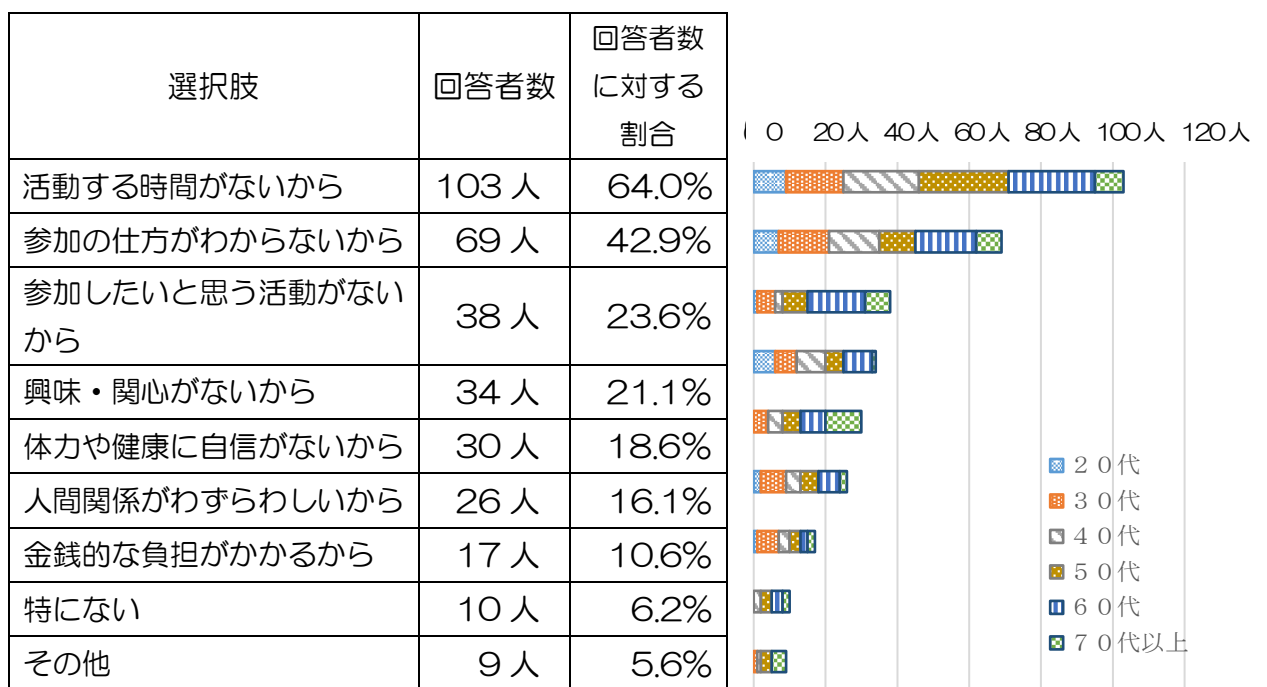


市民活動に「参加している」と答えたかたの割合は 9.8%と 1 割に満たず、一方、「参加していない」と答えたかたの割合は 70.5%という結果となりました。

問 5 で市民活動に「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」の 2 つを合せた『関心がある』と答えたかたは 4 割以上でしたが、関心はあっても必ずしも参加はしていないことが分かりました。

問 7 「問 6」で「参加したことがあるが、今はしていない」「参加していない」と回答したかたに質問です。

市民活動に参加していない理由を 3 つまでお選びください。【複数回答可】



回答者数 161 人、有効回答数 336

<その他回答>

- ・ 近所づきあいが無い
- ・ どのようなグループや活動が存在するのか、いまひとつ分からないから
- ・ 今何をやっているか分からないから
- ・ 活動内容が十分分からない
- ・ 引っ越したため
- ・ 仕事で福祉をしているので、そこでやっている感じです。というか仕事で時間がありません。
- ・ 青年部会がない
- ・ 水彩画展には機会があれば出展している

- ・ どのような活動をしているのか情報が無いのでわからない

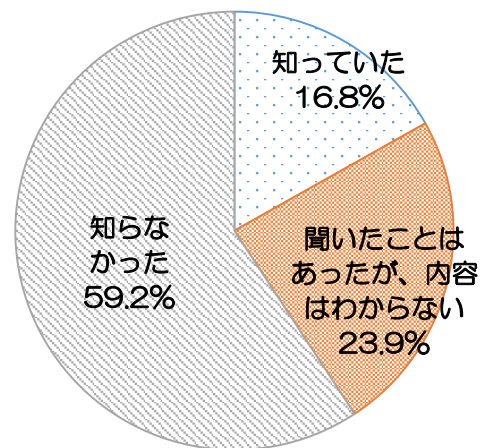
市民活動に参加していない理由に「活動する時間がないから」と答えたかたの割合は64.0%を占めており、仕事などで時間に余裕がないため市民活動の参加が難しい状況であることがうかがえます。次いで、「参加の仕方がわからないから」が42.9%、「参加したいと思う活動がないから」が23.6%という結果となりました。

問8 「協働」という言葉を知っていましたか。

※「協働」とは、様々な地域課題の解決に、異なる組織が強い信頼関係のもと、それぞれの強みを発揮して、協力して取り組むことです。

選択肢	回答者数	割合
知っていた	31人	16.8%
聞いたことはあったが、内容はわからない	44人	23.9%
知らなかった	109人	59.2%
合計	184人	99.9%

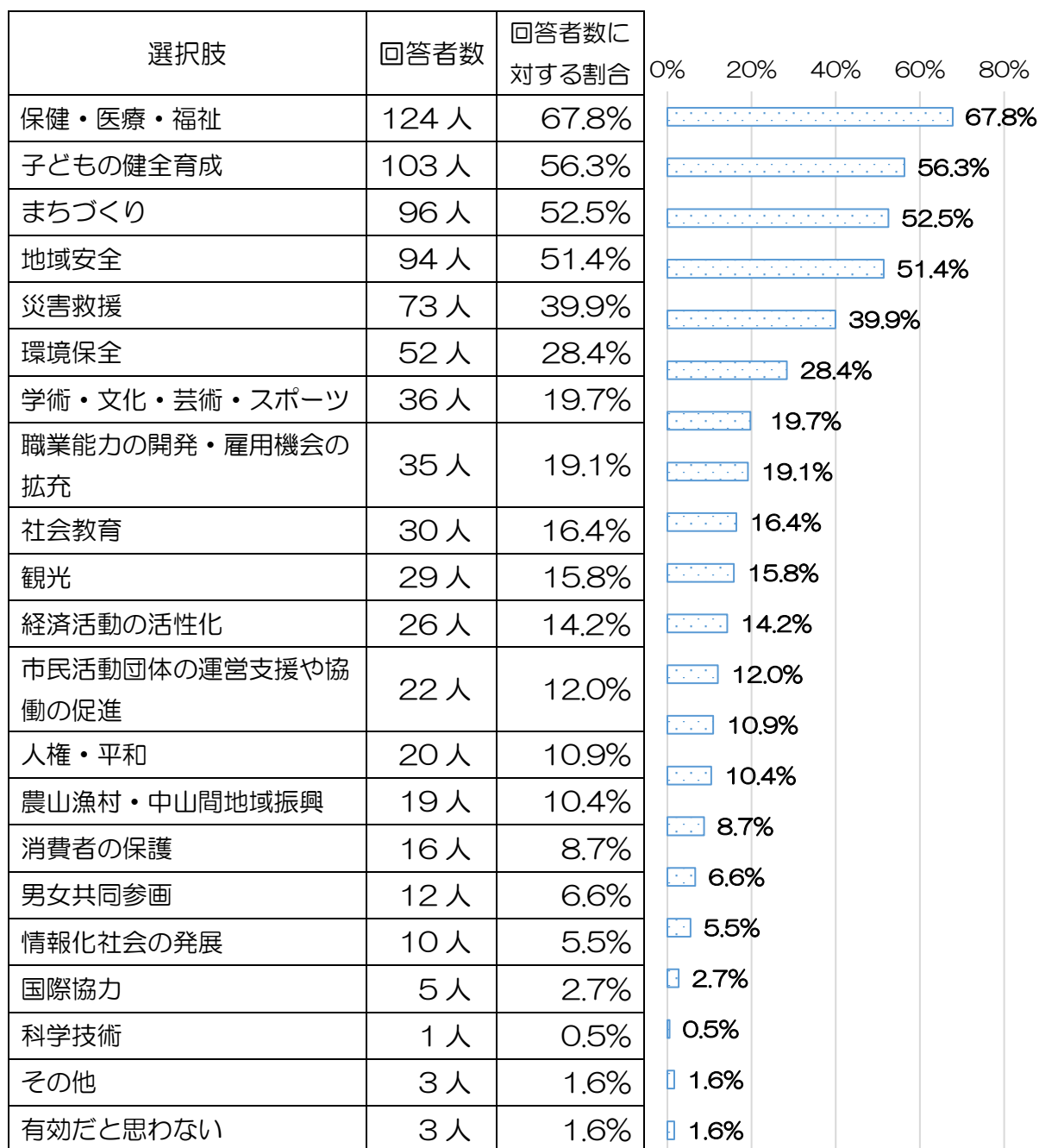
(無記入6人)



協働という言葉を知っていたと答えたかたの割合は16.8%と2割に満たず、「聞いたことはあったが、内容はわからない」と答えたかたの割合は23.9%となりました。協働に対する認知度は、あまり高くないことが分かりました。

問9 今後、地域での困りごとを解決するためには、どのような分野で「協働」することが有効だと思いますか。

有効だと思う分野を5つまでお選びください。【複数回答可】



回答者数 183 人、有効回答数 809

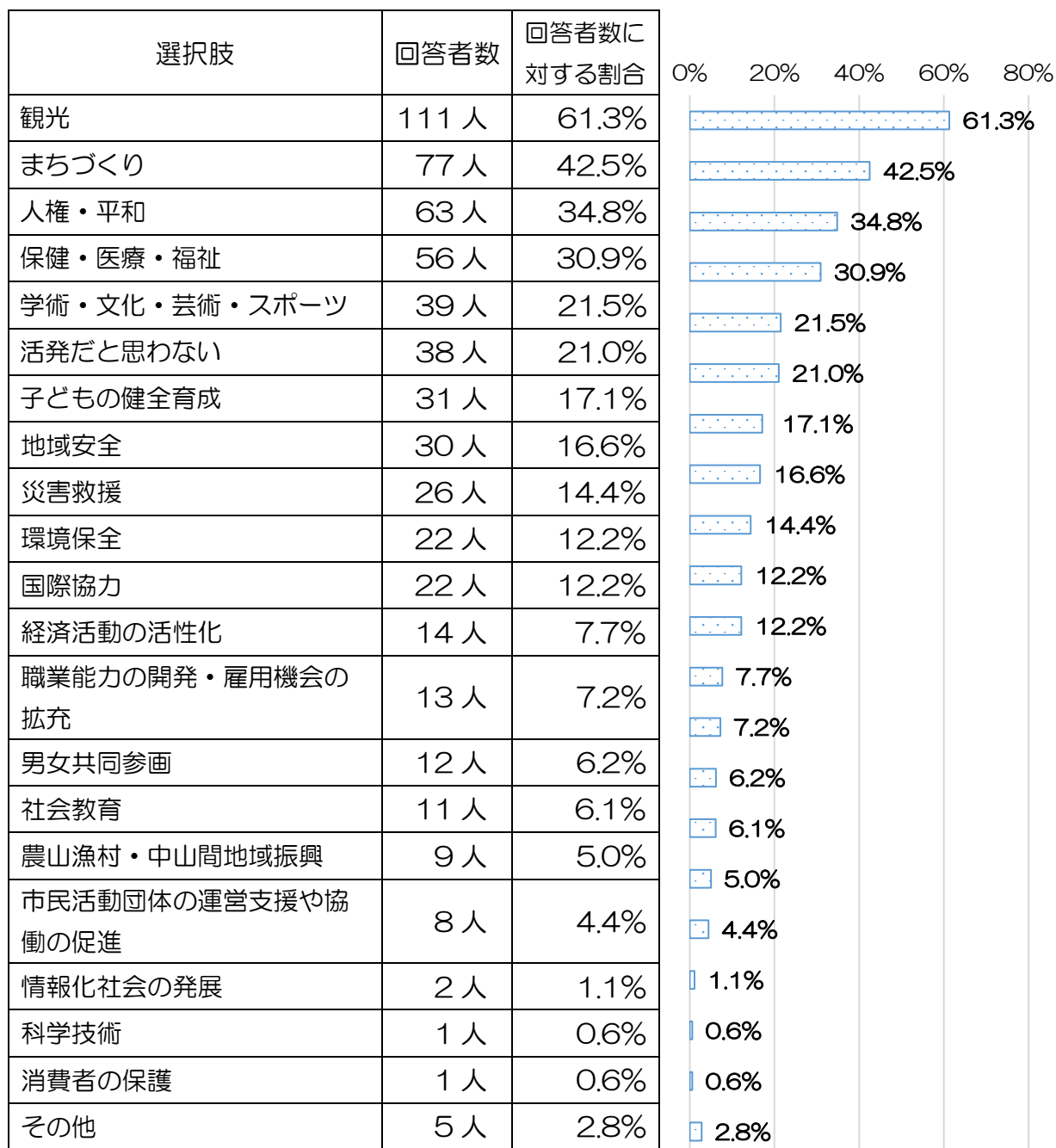
<その他回答>

- ・ まわりの人との協力、助けあい
- ・ イノシシの活動抑制、人家、畑などの安全対策
- ・ 青年部の福祉活動の促進（町内）若い青年が町内行事に参加するしくみ

今後、地域での困りごとを解決するために「協働」することが有効だと思う分野は、「保健・医療・福祉」と答えたかたが67.8%と最も多く、次に「子どもの健全育成」56.3%、「まちづくり」52.5%、「地域安全」51.4%と続き、これらは過半数を上回る結果となりました。

問 10 現在、長崎市ではどのような分野の活動が協働によって活発に行われていると思いますか。

活発に行われていると思う分野を5つまでお選びください。【複数回答可】



回答者数 181 人、有効回答数 591

<その他回答>

- ・ 分からない
- ・ 活動の内容（どこで何をやっているのか）知らないのだ。

現在、長崎市で協働によって活発に活動が行われていると思う分野を「観光」と答えたかたは61.3%と非常に多く、次いで「まちづくり」42.5%、「人権・平和」34.8%と続きます。

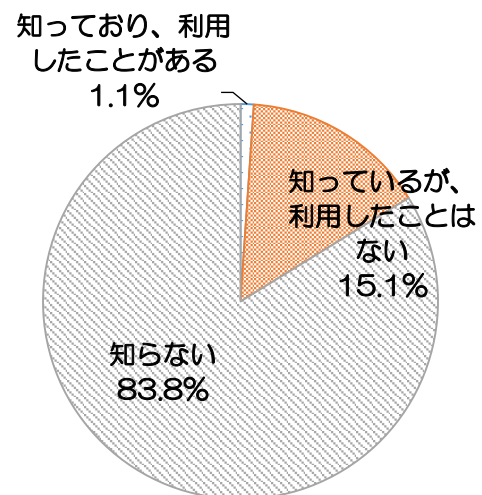
問9で「協働」することが有効だと思う分野で最も多かった「保健・医療・福祉」は、30.9%という結果となりました。

問11 市民活動センター「ランタナ」を知っていますか、また利用したことがありますか。

※市民活動センター「ランタナ」とは、市内に活動拠点を置く様々な分野の市民活動・ボランティアなどを行っている方や、これから活動しようと考えている方の交流拠点として開放している施設です。（所在地：長崎市馬町21-1）

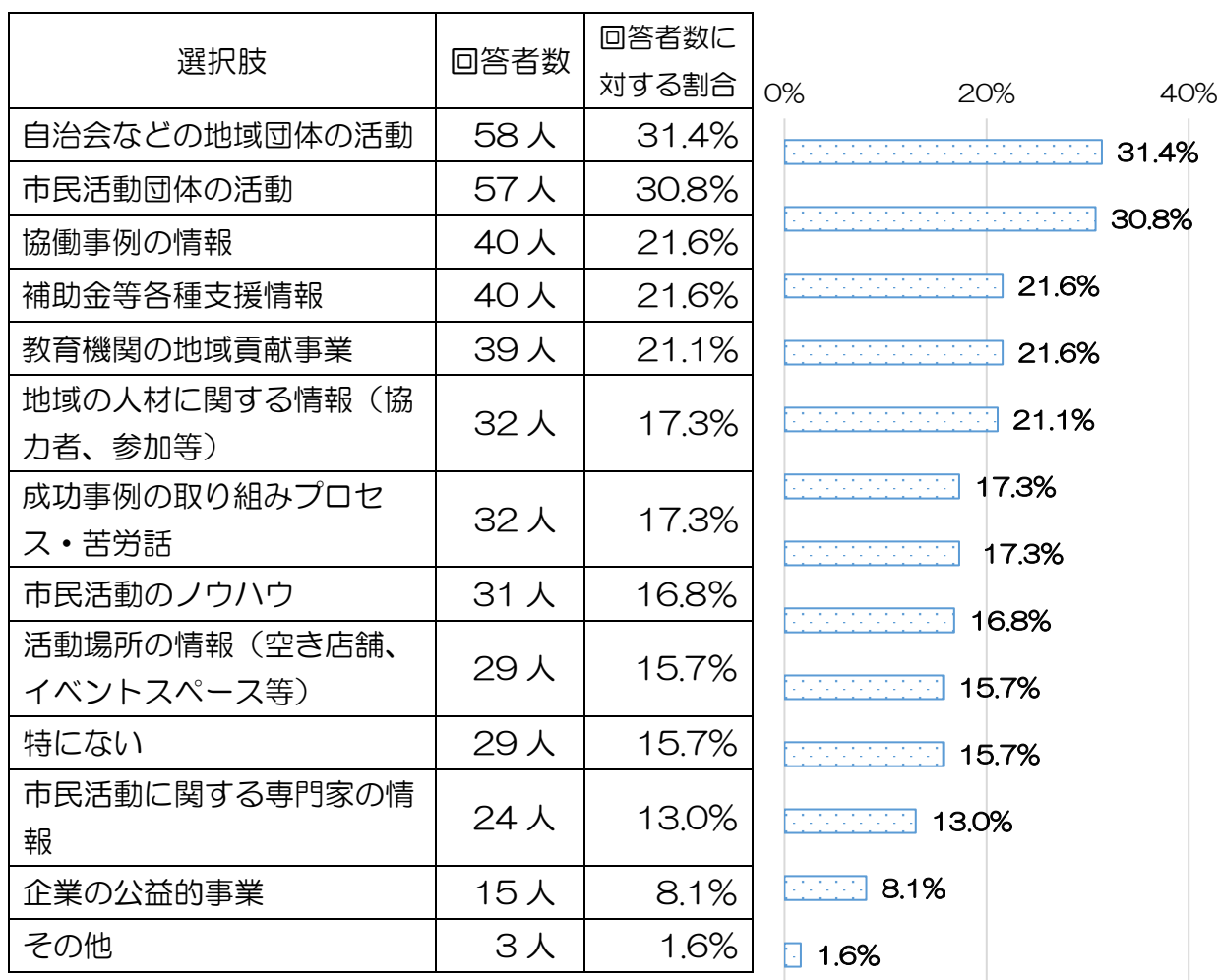
選択肢	回答者数	割合
知っており、利用したことがある	2人	1.1%
知っているが、利用したことはない	28人	15.1%
知らない	155人	83.8%
合計	185人	100.0%

（無記入5人）



市民活動センター「ランタナ」を「知っており、利用したことがある」と答えたかたは1.1%（2人）、「知っているが、利用したことはない」と答えたかたも15.1%（28人）にとどまり、認知度が非常に低いことが分かりました。

問12 市民活動に関係するどのような情報に、興味・関心がありますか。
興味・関心がある情報を3つまでお選びください。【複数回答可】



回答者数 185 人、有効回答数 429

<その他回答>

- ・ ノラ猫、街猫の避妊、不妊、捨て猫〇に
- ・ 先進地方・地域の取組事例の広報・研究
- ・ 興味、関心はありますが、年齢的に行動まで行かない

市民活動に関係する興味・関心がある情報について「自治会などの地域団体の活動」と答えたかたは 31.4%、次いで「市民活動団体の活動」30.8%と3割を超える結果となりました。

問 13 市民活動や協働についてご意見などがあればご自由にお書きください。

○市民活動についてのご意見

- 活動に参加しようとする時、何から始めればいいですか？
- 現在、就業している為、そういう活動に参加、協力が出来ないが、先の事を考える中で、常々、関心を持って情報は持っていきたいと思っています。
- 実際のところ、興味、関心がないと活動したり取り組むことはできないと思うので、時間とゆとりがないとできないことだと思っています。
- 市民活動に関する情報を、ネットなどを使い取得しようと思っています。いざ活動となると、仕事の関係から「日曜日」のみとなりますが、地域社会のお役に立てるのであれば、今後検討したいと思います。
- どのような人達がどんな活動をしているのか知りたい。
- 場所が遠い事がある。駐車場がない事がある。
- どんな活動をするにしても強制的だったり、力を入れすぎたりする人がいて、参加しづらくなり嫌になる事が多いです。熱心にされるのはわかりますが、人間関係について風通しが良くなればと思います。市役所はそういった事のアドバイスはされないのでしょうか？
- 皆が空いている時間に、好きなときに参加できる団体だといいと思います。一度参加したら、その後半、強制的になる団体もあり…
- 活発化すべきだと思う。一方でそれらを担う人が外部（長崎外）から来た方が良くと思うので住みたい、住んでみたいと思えるような街になるよう行政に期待したい。外部の人が良いのは、新しいアイデアの創出や、外から見た長崎の良いところに気づいて貰いやすいと思うため。

○協働についてのご意見

- 協働、ランタナ、言葉は聞いたり見たりしていますが、内容は理解していません。これからは、広報誌などもっと注意して読もうと思いました。
- 協働と内容を詳細に知らなかったことをくやしく申し訳なく思います。

○情報の発信についてのご意見

- 情報等が少なく、理解、判断が難しい
- 活動の内容を公報でPRして下さい。・主催者・内容・時等々
- 市民に呼びかけ、人材、人数を掘りおこす
- もっと広報活動が必要だと思います。
- 情報の発信力が弱い

- 市民活動をよく知らない
- 具体的な活動について聞いたことがありません。広報活動を強化してもらい具体的な活動状況を知りたいし参加するための手続き等を知りたいと思います。
- 若い世代（20代～30代）を協働に参加できるような具体的な情報をもっと発信していくべき。長崎市がなにをどうしているのか若い世代は知らないのです。
- 活動に関する支援の仕組みの周知が不足している。

○自治会等の地域活動に関するご意見

- 自治会活動には興味を持って接していますが、本来任意の団体、つまり有志の人達が集まって地域のために活動するというものなのに、参加（加入）していない人々への敵意や侮蔑が多く存在するように思います。また、結局のところ嫌々ながらの活動（役回りの押し付けなど）となっている実態もあります。そのような状況の中でも地域のために活動している内容については、多くの人々に認識してもらえていないようにも思います。行政が自治会活動を勧めることは理解できますが、自治会加入者と未加入者との溝が深まり、対立関係となることがないように手引することも必要なのではないのでしょうか
- 自治会に加入しない家庭が多い。加入するメリットが感じられないのでは。忙しい家庭が多いので自治会に加入することで役員などの負担がかかっている。
- 自治会の活動でさえ、まともに参加しておらず申し訳ないことですが、自治会と別にこうやって活動されているのだと知りました。今後、機会を得て学びたいとも思っています。
- 自治会を通して身近に参加出来ることがあれば参加してみたいとは思っているのですが！

○その他の活動に関するご意見

- 観光への活動は上昇の一途であるが美観が悪すぎる。稲佐山道路付近の雑草など不備、ロープウェイ付近の暗さ、清掃が出来ていない。町なみも樹木ものびっばなしが多い。自治会の協力、市民で力を合わせてできるはず。
- 外国人観光客のボランティアガイドは英語・中国語・韓国語が主流ですが、スペイン語圏の観光客も多く来崎されているのでスペイン語のガイドさんを養成されたら如何でしょうか。市主催のスペイン語講座を開催したら多くの方々に参加されると思います。
- こども食堂に関心がありました。時間的に余裕がなかったので協力は難しかったです。活動内容について市報などで知らせてもらえればと思います。
- 核、原爆、廃絶にもっともっと広がったらいいと思います

- 原爆、平和に関する活動が多いようで、これが反政府的、政治活動に利用されているようで、積極的参加になれない。
- 平和活動はやり過ぎ。
- 市の中心部への偏重取組みだけではなく、周辺地域の整備と市民意見の集約・市民減少に歯止めをかける活動の強化・市民の生活居住地域の道路整備と災害発生リスクが大きい個所の整備

○その他のご意見

- 興味は有りません
- ほぼ認識していません。市民のほとんどの人が同じかと想像します。
- 特になし（6件）